



平成 23 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 ティアック株式会社
代表者名 取締役社長 英 裕治
(コード番号 6803 東証第 1 部)
問合せ先 取締役コーポレート本部長
野村 佳秀
(TEL 042-356-9116)

業績予想と実績値との差異、個別業績の前年実績との差異 および特別損失等の発生に関するお知らせ

平成 23 年 3 月期の連結および個別業績について、平成 23 年 2 月 28 日に公表いたしました連結業績予想および前期個別実績と差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、特別損失等の発生についてもあわせてお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期 通期連結業績予想と実績値との差異 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	37,000	1,200	450	△950	△3 円 29 銭
当期実績 (B)	36,867	1,003	348	△1,303	△4 円 52 銭
増減額 (B-A)	△133	△197	△102	△353	——
増減率 (%)	△0.4	△16.4	△22.7	—	——
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	40,739	554	31	64	0 円 22 銭

2. 平成 23 年 3 月期 通期個別業績と前期実績値との差異 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前年実績 (A)	30,730	216	36	318	1 円 10 銭
当期実績 (B)	28,769	425	788	△961	△3 円 34 銭
増減額 (B-A)	△1,961	209	752	△1,279	——
増減率 (%)	△6.4	96.6	—	—	——

3. 差異が生じた理由

(1) 連結

前回発表予想時の当期純利益の見込みに対し、経常利益が減少したこと、特別損失において閉鎖予定の海外子会社のたな卸資産廃棄の発生および不動産の減損損失の増加、過年度特許権使用料の増加等により、実績値との差異が生じました。

(2) 個別

前期に比較して売上高は減少しましたが、プロフェッショナルオーディオ事業、インフォメーションシステム事業が好調であったこと等により、営業利益、経常利益につきましては当期実績が前期実績を上回る結果となりました。当期純利益につきましては、閉鎖予定の子会社の子会社株式評価損の発生、希望退職の募集に伴う特別退職金等の発生、また、繰延税金資産の計上額が減少したことに伴い、前年を下回る結果となりました。

4. 特別損失の発生について

(1) 連結

閉鎖予定の海外子会社の不動産について、帳簿価額を回収可能見積額まで減額し、減損損失 193 百万円を計上いたしました。

(2) 個別

閉鎖予定の海外子会社の純資産に基づき子会社株式を評価しなおしたことによる子会社株式評価損 679 百万円、また、希望退職の募集に伴う特別退職金 435 百万円を事業構造改善引当金繰入額として計上いたしました。

5. 法人税等調整額について

当社は、個別において繰延税金資産を次期 1 年分の見積り課税所得にて計上していますが、希望退職の募集により次期の課税所得の見積り額に基づく繰延税金資産の計上額が減少すること等により、平成 23 年 3 月期決算において法人税等調整額 278 百万円を計上いたしました。

以上